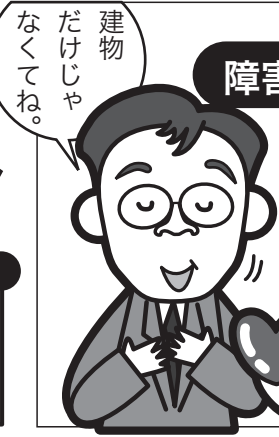


# 障害があっても自立をする手伝いを



大切なのは心のバリアフリー。

建物だけじゃなくてね。



例えば障害者政策も閉じこめるのではなく...



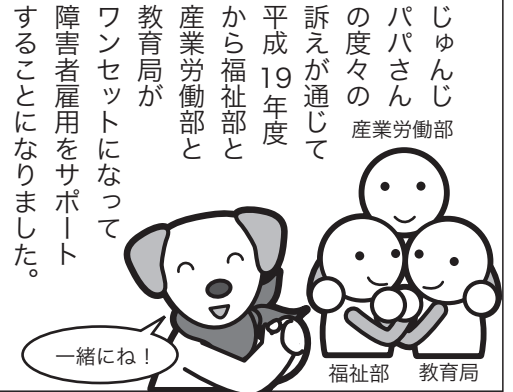
自立を支援する政策でなければならぬのです。



障害者雇用の促進をぜひ!

やりましょ。

上田知事



じゅんじパパさんの産業労働部の訴えが通じて平成19年度から福祉部と産業労働部と教育局がワンセットになって障害者雇用をサポートすることになりました。

一緒にね!

福祉部 教育局



センターのようなものを創ります

やった!



働きたい!

また福祉施設で職場開拓や企業実習を担当する職員への人件費は県と市が補助することにしました。



現場の声を反映していこう!

障害者自立支援法を補う埼玉県独自の仕組みなんだから!

# これだけはゆずれないのだ



あなどれないんだよ西山議員は。

上田知事

# 教科書問題では意見が対立...

我が国における歴史教科書については未解決の問題がたくさんあります。それぞれの歴史観のうしろには、異なるイデオロギーがあるからです。

大人の勝手な都合でこどもを引っ張り回していいのでしょうか?



いたいよー。

いや、こっちだ!

こっち! こっち!



むずかしいね

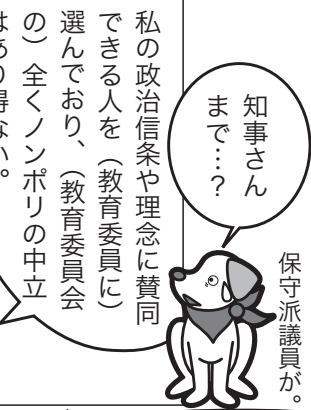


とんてん

いーなも

もう!

知事がそれを言いません!



知事さんまで...?

保守派議員が。こと多くの

私の政治信条や理念に賛同できる人を(教育委員に)選んでおり、(教育委員会)の全くノンポリの中立はあり得ない。

教育の目的は「こどものしあわせ」。大人の代理戦争に巻き込むべきではないのです。



歴史観は時間をかけて自分で身につけてね。

教育は次代の人間を創る遠大な事業。政治権力に左右されない自立性が欠かせません。立法・司法・行政の三権に、教育を加えた「四権分立」が必要だとすら西山じゅんじは考えています。



中立、

本来、公教育は中立でなければいけません。それなのに...

なぜそのポーズ?

自虐史観の教科書はけしからん。

保守派

教育委員会制度の趣旨は、政治的中立性の確保と首長からの独立性にあると文部科学省も明言しています。

# 政治の圧力



公平な採択がしにくいでしょ?

重い? ...よね。

教 育 委 員